

相模

第534号
令和5年10月1日

www.samukawajinja.jp
S A G A M I





相模國 一之宮 寒川神社

一、御祭神

寒川比古命(さむかわひこのみこと)
寒川比女命(さむかわひめのみこと)

寒川神社は、寒川比古命・寒川比女命を奉祀申し上げ、二柱の御祭神を寒川大明神と奉称しています。

寒川大明神は、相模國を中心に広く関東地方を御開拓になられ、衣食住など人間生活の根源を開発・指導されました関東地方の親神様です。

一、御由緒

当神社の創建は古く、『惣国風土記』には雄略天皇(457～479年)の御代に奉幣があったと記されています。また、『寒川文書』には神龜4年(727年)社殿建立と伝えられ、『続日本後紀』には承和13年(846年)に神階従五位下を授けられたと記載されています。さらには醍醐天皇の御代に制定された延喜式においては、相模國唯一の名神大社と定められ、当神社は少なくとも約1600年の歴史を有する古社といえます。

特に古くから唯一の八方除の守護神として、地相・家相・方位・日柄厄年などに由来する災難をとり除き、福德開運をもたらし、日々の暮らしに限りない恩恵を与えて下さる御神徳は広大無辺です。

この八方除の御神徳は、全国各地より敬仰され寒川大明神を奉戴する崇敬者は年々増加し、篤い信仰を集めています。

一、御神域

神聖なる神嶽山を背に境内は約1万5000坪となっており、緑豊かな樹木に囲まれています。神門、手水舎に続いて、平成9年10月に厳肅の中にも絢爛に輝く銅板葺、総木曾檜造りの御本殿のほか、幣殿、拝殿、翼殿、廻廊などが完成致しました。

また御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、御社殿御造営10年を記念致しまして、大規模に整備を行い、平成21年に開苑致しました。



Instagram 公式Instagram
samukawa_jinja_official



当神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真をアップされる際は「#寒川神社」をつけてください。
※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください



公式チャンネル



当神社の祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。今後も様々な行事の様子を発信していきますので、皆様のチャンネル登録をお願いします。



公式ラインアカウント



当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。Instagram以外の情報もお送りしていきますので「友だち」登録をお願いします。



公式フェイスブック



当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。公式Instagramとリンクしています。ご一緒に登録をお願いします。

ご登録お待ちしております



社報「相模」メルマガ
配信のご案内



寒川神社の祭典・行事のご案内を社報「相模」メルマガとしてお届けします。是非、ご登録ください。



◆メールは毎月1日に配信致します。
◆神社ホームページよりご登録ができます。
<https://samukawajinja.jp/mailmagazine/>

2	社務報告
4	令和5年浜降祭のご報告
5	令和5年例祭斎行
6	例祭神徳奉賛金奉賛者芳名
7	例祭献灯者芳名
8	企画展「神社と震災」
9	第56回寒川神社菊花写真展のご案内・七五三詣
10	【特集】神社と神事奉仕者
14	病院だより・青少年だより
15	相模秋の歌・人事
16	10月～12月 祭典のご案内

【表紙】
例祭
「浦安の舞」

【題字】
神社本庁 総長
田中恆清

表参道 一ノ鳥居



かんたけやましんえん 神嶽山神苑

神苑で寒川大明神との御神縁をお深めください ※入苑は御祈禱を受けた方に限ります

【時間】

午前9時から午後4時まで
毎週月曜日は休苑
(祝祭日は開苑)

●神苑内では茶屋「和楽亭」
にて抹茶と和菓子をお楽しみいただけます。
(500円より思召し)

本年は12月13日にて閉苑
となります



《石舞台公演》
10月以降の日程はホームページにてお知らせ
します



《方徳資料館》
寒川大明神の全国唯一の御神徳「八方除」について
の資料が展示されています



華道夏期研修会



浜降古式祭



浜降祭パネル展



平和祈願祭



虫送り祭



浜降祭パネル展

寒川神社

社務報告

祭典・行事のご報告

7月

3、19日 浜降祭パネル展

15日 浜降古式祭

16日 浜降祭宵宮祭並遷霊祭

17日 浜降祭

18日 虫送り祭

8月

3、4日 華道夏期研修会

13日 寒川神社参集殿1階ロビー！

レストラン青葉改装及外壁

塗装工事竣工清祓

15日 平和祈願祭

第54回相模薪能

※**荒天の為中止**

19、25日 國學院大學・皇學館大学
指定神社実習受入れ

25日 神社庁相模湘南支部総会

27日 第2期相模塾第8回講座

浜降祭パネル展

7月3日より19日まで「浜降祭パネル展」が開催されました。

連綿と続いてきた浜降祭がコロナ禍の影響により斎行されず、各種祭典や神輿渡御・氏子の皆様の神事継承などを危惧し、昨年より開催しております。このパネル展は、浜降祭の祭事の意義や当神社の神輿の渡御経路や各祭典の様子を写真や地図を用いて分かりやすく展示しました。

華道夏期研修会

8月3日・4日の2日間、華道夏期研修会が開催され、四季折々の草花を花器に挿して花々の美しさを理解し技術を研鑽しました。

今春に採用された巫女は初めての

生け花となり、試行錯誤しながら研修会を受講して、技術向上とともに華道の作法を重んじる研修となりました。

寒川神社参集殿1階ロビー・レストラン青葉改装及外壁塗装工事竣工清祓

8月13日、参集殿1階ロビー・レストラン青葉改装及外壁塗装工事竣工清祓が行われました。

当神社参集殿は昭和47年に開殿し、約50年間氏子崇敬者の研修会や講演、七五三詣や結婚式などの人生儀礼に活用されてきました。

この度の改修に伴い、日本の伝統建築と近代建築をあわせた場所として、多くの皆様にご利用しやすい施設となりましたので、ご参拝の折に



相模湘南支部祭式研修会



指定神社実習受入れ



寒川神社参集殿外観



相模湘南支部祭式研修会



全総代会



寒川神社参集殿1階ロビー

9月

1日 寒川神社全総代会

12・14日 神社庁相模湘南支部

祭式研修会

16日 企画展「神社と震災」

(10月22日)

19日 商工祈願祭並献灯奉告祭

例祭宵宮祭

流鏝馬神事

20日 例祭

23日 安藤由勝大人命

伊集院直彦大人命

他命等の慰霊祭

末社御祖神社

秋季霊祭並合祀祭

28日 高座氏子総代会総会

29日 末社宮山神社例祭

毎月1日・20日

月次祭(9月20日は除く)

はお食事、ご休憩などにご利用ください。

平和祈願祭

終戦記念日である8月15日正午より、末社宮山神社境内にある、平和塔「和光」の前にて平和祈願祭が斎行されました。

「和光」は戦後20年の節目として昭和40年に住民の総意により建立され、八角形の支柱は3本あり、戦没者・遺族・国民を象徴し、上の玉は平和を表しています。祭典は当神社の責任役員・正副総代長・宮山自治会役員の方々にご参列いただき、戦没者に慰霊の黙祷を捧げ、世界の恒久平和が祈念されました。

指定神社実習受入れ

8月19日から25日までの間、神職を目指して日々勉強に励む國學院大學(東京都)と皇學館大学(三重県)の学生の神社実習を受入れました。学生たちは期間中に社頭奉仕・祭典への参列・青少年育成活動などの

体験を通じて、神職としてのあるべき姿を窺い知ることが出来ました。学生各位の今後の前途洋洋たる未来をお祈り致します。

相模湘南支部祭式研修会

9月12日及び14日において、県神社庁相模湘南支部主催による祭式研修会が当神社参集殿にて開催されました。

神社において斎行される祭典には、各行事に必要な作法(神社祭式)、歩き方や拝の角度など、時と場合によって詳細な規程があります。そのような基本動作を再確認し、日々の神明奉仕に活かすべく開催されています。神職の本文であります祭祀の厳修を胸に刻み、日々の神明奉仕に活かすべく有意義な研修となりました。

相模新能中止のご報告

8月15日に開催予定でありました第54回相模新能は台風7号の接近に伴い、ご来場の皆様の安全を考慮しまして中止となりました。

暁の祭典

浜降祭ご報告

浜降祭は、祭典日と梅雨明けの時期が重なることから「湘南地方に本格的な夏の到来を告げる祭典」といわれており、湘南地方を代表する「夏の祭典」として地元の人々に愛されています。毎年7月の海の日（本年は7月17日）に斎行され、寒川神社をはじめとして寒川町と茅ヶ崎市に鎮座する34の神社の神輿約40基が一堂に参集しました。

令和元年以降、4年振りに再開された本年はコロナ禍を乗り越えたことで、各神社それぞれが祭典に対しての熱い思いがより高まった浜降祭となりました。南湖の浜での来場者数は約9万5000人（主催者発表）と発表され、浜降祭は斎主である当社利根宮司による五穀豊穡と産業発展を祈念する祝詞奏上に引き続き、多くの関係者によって玉串拝礼が行われ盛大に執り行われました。※参加神社は下記一覧となります

寒川町民安全祈願祭 斎行

浜降祭に引き続き、寒川駅前公園にて「さむかわ神輿まつり」が開催されました。平成25年の第1回より東日本大震災と九州・熊本地震の復興祈願祭として行われていましたが、浜降祭同様に4年振りに再開され寒川町の氏子の健康と安全を主に寒川3社（寒川神社・菅谷神社・倉見神社）の神輿が集結して安全祈願祭として斎行されました。



浜降祭（南湖の浜）



寒川神社からの発典



神輿の渡御



寒川町民安全祈願祭

浜降祭供奉神社（参加神社）一覧 ※浜での神輿の列位順で表記しています

南湖下町	茶屋町	南湖中町	南湖上町	鳥井戸	室田	小和田	香川	甘沼	高田	下赤羽根	上赤羽根	下寺尾	菱沼	堤	芹沢	一之宮	相模國	岡田	倉見	一之宮	中海岸	中海岸	十間坂	十間坂	新町	本村	中島	今宿	萩園	柳島	円蔵	西久保	矢畑	浜之郷
住吉神社	茶屋町大神宮	八雲神社	金刀比羅神社	御霊神社	八王子神社	熊野神社	諏訪神社	八幡大神	熊野神社	神明大神	八雲大神	諏訪神社	八王子神社	八坂神社	腰掛神社	寒川神社	菅谷神社	菅見神社	倉見神社	八幡大神	八龍王神	中海岸神社	第六天神社	神明宮	巖島神社	八坂神社	日枝神社	松尾大神	三島大神	八幡宮	神明大神	日吉神社	本社宮	鶴嶺八幡社

※供奉（くぶ）神社：寒川神社にお供をする神社です



例祭(浦安の舞)



流鏝馬神事



献茶



空手道演武



神輿の巡行



子供神輿の巡行

令和5年

寒川神社

例祭 齋行

9月19日・20日の2日間に亘り、寒川大明神の御神徳への感謝と、氏子崇敬者のご隆昌を祈念する例祭が厳粛裡に斎行されました。令和2年以降、コロナ禍の影響により規模を縮小して開催されていましたが、本年の例祭は祭典の参列数・神賑行事等も本来の形での斎行となり、多くの皆様方が寒川大明神の御神徳を余すことなくお受けになられました。

19日の午後1時からは例祭宵宮祭、引き続き午後2時から(公社)大日本弓馬会による流鏝馬神事が肅々と奉納され、当神社の神職が射手としても奉仕し、天下泰平と五穀豊穡が祈念されました。20日の午前10時から例祭が斎行され、約200名参列の下、神社本庁からの幣帛を奉り、浦安の舞が厳かに奉奏されました。また神賑行事として奉納演芸や各種武道大会、また献花・献句・盆栽展などが行われ、夕刻からは境内にて立正佼成会湘南教会による万灯パレードと宮山神輿愛好会による神輿巡行が執り行われました。

寒川神社 例祭 令和5年 例祭神徳奉賛金 奉賛者芳名

〔宮山〕

上合	滝沢	隆殿外 18名	五二、〇〇〇円
中里(上)	榊原	一男殿外 26名	四〇、〇〇〇円
中里(下)	福岡	清一殿外 28名	六二、〇〇〇円
中里(河原)	岡部	林子殿外 11名	一四、〇〇〇円
中里(サザン)	坂横	裕彦殿外 7名	八、〇〇〇円
馬場	東	正彦殿外 24名	三九、〇〇〇円
雷	熊井	龍司殿外 26名	二七、〇〇〇円
下	井出	貴史殿外 61名	六二、〇〇〇円
根岸(上)	戸口	一男殿外 24名	二七、〇〇〇円
根岸(中)	安東	純夫殿外 8名	九、〇〇〇円
根岸(下)	谷	博人殿外 31名	三三、〇〇〇円
オリノの丘	恵永	博克殿外 2名	二、〇〇〇円
旭(東)	室田	理基殿外 19名	二〇、〇〇〇円
旭(西)	安井	克己殿外 12名	一三、〇〇〇円
宮山南	古谷	雅洋殿外 13名	三三、〇〇〇円

〔一之宮〕

火の見下	清田	光男殿外 1名	二、〇〇〇円
南台畑・稲荷前	木村	正幸殿外 1名	二、〇〇〇円
中台畑	永田	進殿	一、〇〇〇円
富士見町	加賀谷敏明殿		一〇、〇〇〇円
下河原1	滝沢三千男殿		二、〇〇〇円
西町西1	入澤	一三殿外 16名	一七、〇〇〇円
西町西2B	谷島	俊郎殿	三、〇〇〇円
新道	剣持	勝夫殿外 1名	二、〇〇〇円
宿1	廣田	緑殿外 5名	六、〇〇〇円
宿2	若林	康修殿外 6名	七、〇〇〇円
東1	小林	稔殿外 1名	二、〇〇〇円
東2	向川	明殿外 3名	四、〇〇〇円
東3・5B	山本	雄司殿外 16名	一七、〇〇〇円

〔西岡田〕

仲町2	山上	晴彦殿外 6名	七、〇〇〇円
目久尻	福田	圭治殿外 1名	二〇、〇〇〇円
森下住宅	矢野	幸一殿外 8名	九、〇〇〇円

〔東岡田〕

久保地	宇田	正行殿外 6名	二一、〇〇〇円
仲町	白井	光廣殿外 7名	九、〇〇〇円
上町	三留	弘殿外 4名	五、〇〇〇円
仲原町	三澤	眞一殿外 3名	四、〇〇〇円
上町・下町	三留	清一殿外 9名	一〇、〇〇〇円

〔新町〕

南駅前通	木村	範雄殿外 1名	二、〇〇〇円
東通	内野	広志殿	三、〇〇〇円
南2	金澤	純一殿	五、〇〇〇円

〔小倉〕

東2	小西	和夫殿	五、〇〇〇円
----	----	-----	--------

〔大蔵〕

入町	門倉	敏明殿外 3名	四、〇〇〇円
----	----	---------	--------

〔倉見〕

大村(東1)	磯川	彰殿外 4名	五、〇〇〇円
大村(西1)	田代	満殿外 5名	二〇、〇〇〇円
才戸(南)	近藤	弘子殿外 6名	九、〇〇〇円
才戸(東)	齋藤	義雄殿外 5名	八、〇〇〇円
才戸(西)	小田	晃弘殿外 5名	一〇、〇〇〇円

〔原(南)〕

原(南)	今井	正夫殿外 4名	一〇、〇〇〇円
原(北)	佐藤	督士殿外 2名	五、〇〇〇円
十二天(南)	安部川克弘殿外 5名		二二、〇〇〇円
十二天(北)	藤澤	茂殿外 1名	二、〇〇〇円

〔南町〕

南町	須田喜久男殿外 18名		一九、〇〇〇円
西町	中澤	知也殿外 18名	一九、〇〇〇円
川端(西)	尾高	三男殿外 5名	二二、〇〇〇円

〔桜町(上)〕

桜町(上)	繁田	善治殿	一、〇〇〇円
桜町(中)	村田	佳昌殿外 11名	二二、〇〇〇円
桜町(下)	鎮野	淑人殿外 4名	五、〇〇〇円

〔大曲〕

大曲	鈴木	烈殿外 29名	三六、〇〇〇円
----	----	---------	---------

〔田端〕

東町	相田	孝殿外 13名	一四、〇〇〇円
宿町	大柳	孝好殿外 24名	二五、〇〇〇円
西町	小川	哲男殿外 20名	二一、〇〇〇円

〔小動〕

小動	阿部	幹男殿外 19名	二〇、〇〇〇円
----	----	----------	---------

〔講社〕

寒川神社易友会	澤津	壽道殿	一〇、〇〇〇円
---------	----	-----	---------

〔匿名〕

匿名			95名 二九、〇〇〇円
----	--	--	-------------



例祭

令和5年

例祭献灯者

芳名



約200灯の提灯が9月1日より献灯されました。

- 入澤 一三
- 松本 學
- 皆川 欽一
- 青木 誠
- 高橋竹材店
- 中島 啓介
- 前田 隆一
- 前山上建設
- 河西工業(株)
- 日本精麦(株)
- 下里自動車(株)
- 藤又
- (株)カナリヤ
- (有)寒川建材
- (有)田中写真
- 東木材(株)
- (株)ブランドライン・マルシゲ
- 青葉
- 青山大寿司
- (株)アサヒファーマシー・之宮薬局
- アズビル(株) 湘南工場
- (有)田舎鮎
- (有)井上商事
- (株)ウスイ植物園
- (株)内野不動産
- (株)梅屋幸
- 岡遷(株)
- (株)オーカワ
- (株)金子建材土木
- (有)千寿会 きくの郷
- (株)金庫屋商店
- (株)コーメー
- (宗)興全寺
- コバシ(株) 湘南工場
- 寒川病院
- 寒川町観光協会

- 寒川町商工会
- (株)サンエーサンクス
- 湘南信用金庫寒川支店
- 昭和興産(株)
- 神恵苑
- 大黒屋製菓
- 瀧川園茶舗
- 露木生花
- 戸塚米店
- とんかつ水龍
- 中沢運輸(株)
- (株)張替工業
- (株)フルモト
- (有)古山看板塗装
- 豊月堂
- (有)ほりむら薬品
- 村松商事(株)
- 森村ケミカル(株)
- (株)山上工務店
- ヨシカワ商店
- (株)アイアール
- (株)アークル
- (株)秋江
- 秋山商事(株) 厚木支店
- (株)アクティオ
- 安藤物産(株)
- 一政水産(株)
- (株)植藤造園
- (株)大島寅次郎商店
- (有)大角塗装工業
- 大村紙業(株)
- 小田行政書士事務所
- (有)香川第一交通
- (株)川合工業所
- (株)木内
- (株)北岡本店

- 熊澤酒造(株)
- 倉橋 博之
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)
- (医)さくまこどもクリニク
- (株)さんこうどう
- (株)サンユー
- (株)ジェイコム湘南・神奈川
- (株)シノハラ
- (株)湘南
- (株)湘南ビューティブライダル
- (株)湘南山鉄
- 鈴木徽章工業(株)
- (株)鈴木製館所
- 総合警備保障(株) 湘南中央支店
- (株)ダイワ・エム・ティ
- (株)竹澤古典建築設計事務所
- (株)竹中工務店 横浜支店
- (株)永沢興業
- 長嶋園
- 中野設計工務(株)
- (有)ノブ・リライアブル
- (株)長谷川製作所
- ツピーライフ(株)
- 日立Astemo(株)
- 人の森(株)
- (株)ヒラボウ
- 藤井 健介
- (有)平成工業
- (株)ファミリー・ホール
- (有)ボデーショップ浜名
- (有)松いち食品
- (株)眞原電工
- 丸高工業(株)
- 百崎製菓(株)
- 山一工業(株)
- 横浜貨物総合(株)

- (株)横浜銀行 茅ヶ崎支店
- (株)落雁 諸江屋
- (株)レンブラントホテル厚木
- (株)アイネット
- (有)青木商事
- (株)アクアリング
- (株)アクアリング グローバルストラテジー
- 浅田水産
- 旭ファイバーグラス(株) 湘南工場
- (株)アサヒフアシリテイズ 横浜支店
- (株)アスカ
- (株)阿部
- 阿部 和彦
- (株)井上
- (有)今井
- 今井 章博
- (株)エヌエーシー
- 片平 修二
- (株)神路社
- (株)関電工
- 北村工務店
- (有)協和クリーニング
- (株)工房えむま
- (株)晃和ディスプレイ
- (株)サイファーム
- さがみ農業協同組合 寒川支店
- (有)寒川公衆衛生社
- 寒川ごとう眼科
- 寒川神社参集殿
- 寒川ロータリークラブ
- 寒川ローンテナスクラブ
- (株)シテイライフ
- 柴崎 要
- (株)JTB 神奈川西支店
- ジュー(株)
- (有)杉崎設備工業

- 杉山物産(株)
- (有)鈴野農機
- 住友電設(株)
- (株)曾我
- (株)タウンニュース社
- (株)高田
- (株)タカトープランナー
- 田中 雄二
- (株)THコーポレーション
- TNKグループ 田中組
- 日本ロードマーク(株)
- (株)ニッポン放送
- のぞみ針灸整骨院
- 長谷島 征次
- (有)破魔矢奉製所
- 比企野 孝幸
- フジシロ工業(有)
- (株)ボランチ
- (株)舞工房
- 松井建設(株)
- (株)丸井紙店
- (株)三井住友銀行 湘南法人営業部
- (株)ミヤダイ中央社
- (株)森川製作所
- (有)柳沼鉄筋工業
- (株)結商会
- 横浜エフエム放送(株)
- (株)読売 Palette
- Lucca
- レスポアルサウンド
- ロソン・スリーマ 寒川宮山駅前店
- 匿名
- (順不同・敬称略)

第56回 菊花展・写真展 開催



写真展〈審査長〉写真家 丹治俊雄氏

【会 期】 11月10日(金) から 23日(木) まで
【場 所】 境内廻廊にて

菊花展〈審査長〉遠藤 吉和氏 〈副審査長〉高橋 正夫氏
 〈参加団体〉寒川町菊花会・茅ヶ崎茅秋会・平塚菊花会・
 藤沢菊花会・綾瀬菊花会・大和秋香会・
 厚木秋華会・座間市菊友会・伊勢原秋豊会・
 宿矢名菊花会

菊花展・写真展は、明治改元百年記念事業の一環として昭和43年より本年まで毎年、開催しています。
 菊花展は、例年200点以上が出品されます。観賞菊である大菊を主に審査対象としており、最優秀賞の寒川神社宮司賞をはじめとして、金賞以下各賞が審査されます。その他、ご奉納いただいた菊も展示されます。
 写真展は、例年多くの作品が応募され、展示されます。題材は「寒川神社」に關係がある祭典、社頭風景」です。神社を舞台に季節の美しい風景や、人に焦点をあて、様々な物語が写真から感じ取れます。
 ※境内に展示されていない出品写真は全てホームページにおいて公開します

「七五三詣」のご案内

七五三詣

・3歳の男児・女児がそれまで剃っていた髪を伸ばし始める「髪置」
 ・5歳になる男児は初めて袴を身に着ける「袴着」
 ・7歳になる女児には着物を着る際に帯を結ぶようになることを祝う「帯解」

◆七五三の御祈祷 ◆ 9月16日から授与開始 ※数量限定
 ・五千元以上思召し
 (紅白の御幣・七五三神札・御守・神供・らくがき帳・クレヨン・折り紙・圧縮タオル・巾着袋)
 ・一万円以上思召し
 (右記記載の授与品に加えて、工作パルーン・絵本が追加)
 ※郵送祈祷、御本殿に上がらずに授与品のお渡しもできます

七五三特別授与品 (数量限定)



御守置き 初穂料 各1,500円



幸運鈴 初穂料 各1,500円



会食・着物着付け・レンタル・写真撮影の受付をしております。

【問合せ先】寒川神社参集殿 午前9時から午後6時まで

☎0467-75-5555

【特集】

神社と神事奉仕者

「神事奉仕者」は、神社の各祭典にご奉仕をいただいている重要な役目を担っています。「神事奉仕者」にコロナ禍を乗り越えて再開される各祭典への思いと共に所感を伺っていきます。



シテ方観世流

なか もり かん た
中森 貫太

(一社)日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定)、
(公社)能楽協会会員、(公財)鎌倉能舞台業務理事、
(公社)観世九阜会メンバー(観世喜之師に師事)

昭和45年8月15日 第1回相模薪能より、現在まで連続奉仕され、平成9年(第28回)相模薪能より総合監修となる
平成21年8月 第40回相模薪能 記念表彰受賞
平成22年4月 利根宮司就任祝賀会 舞囃子「高砂」奉納
平成24年2月 寒川神社頭彰式 感謝状受賞
平成26年2月 月次祭(2月1日)「神歌」奉納
※本年まで連続奉仕される
令和元年8月 第50回相模薪能 記念表彰受賞
令和2年2月 寒川神社頭彰式 功労表彰受賞

中森貫太氏にとって「寒川神社」とはどのような存在ですか。

能という演劇そのものは宗教の「宣伝用のコマースャル」として生み出されてきたものであり、その神仏に対して感謝をするための演技だと認識しています。半世紀以上、「故郷」のような寒川神社さん(以降、寒川さん)でやらせていただくということは神事奉仕者として、私自身にとっても大切なことだと思っています。寒川さんは私達がおります相模國一之宮ということで、その地においてお役を

いただいていること自体が大変光栄なお話ですし、ステータスとして捉えております。

例年、終戦記念日に行われる相模薪能ですが、50年間、この日を御神前で奉仕されてきて思われることはありませんか。

子供の頃から8月15日は寒川さんでの御奉仕を行い、私自身、今年で54年目になりますので、そういう意味では生活の一部、習慣の一部として必ず8月15日はお伺いするものと認識しております。



またそれ以外のことにしても、ことあるごとに神社さんにお伺いしています。自分の厄除祈祷や私達の家を建てる時の地鎮祭から竣工祭までお越しただいておりますので、やはり、まず始めに寒川さんを優先させてお願ひするというスタンスになっています。



【2月1日 月次祭】
神歌は長男である中森健之介氏と共に奉納しています

寒川神社の相模薪能は、県内では鎌倉宮の鎌倉薪能(第65回)に次ぐ長い歴史がありますが、半世紀以上続いている理由はどこにあると思いますか。

鎌倉宮さんは回数としては長いですが、実際は寒川さんの方が演能回数は遥かに多いです。半程度度は降雨のために中止の対応が多いです。なぜかものすごい雨の確率が高いのですよ。ただ鎌倉がやはりその能として老舗の知名度が圧倒的に高いことから薪能といえは鎌倉という様に多くの方は思われています。

そもそも、鎌倉と能は何の所縁もない場所なわけであつて、それが近年、能が鎌倉と深く結びついていくように感じるのには鎌倉薪能の力が大きいわけです。

寒川さんにおいては、言うまでもありませんが、御本殿が能舞台の真後ろにあるというこの構えと風情が何よりも素晴らしいと思つています。第30回から現在の御本殿前(内庭)に能舞台を組みましてこの形となり、私達と致しましてこの雰囲気にはやりがいを感じていますね。また金銭的なお話になりますが、寒川さんは無料で開催されていることも長く続く要因として思いますし、それ以外でも神職の皆さんと私達それぞれの相性の良さ、開催への努力、会場の立地条件などの理由がいろいろあると思ひます。

普通、長い歴史において数回行うと薪能は無くなる人が多いです。県内でも以前は開催していた神社さんもありますが、歴史を積み重ねていく中でいろいろな事情が重なり、今はもう開催されていない所がほとんどです。全国的にみて薪能はバブルの頃は年間200回を越えていましたが、もう今はほとんど減っていますね。それでも約150回程度は行われているのではないのでしょうか。県内だけでもいろいろ拝見しますと20ヶ所ぐらいで開催されていますからね。関西では結構小さい薪能が多くありますよ。100人程度で関係者のみで細々々々行っている薪能も結構あります。京都などほどの神社さんも奉納という形でやっていますね。ただもう今は10000人規模で人を入れている所は数える程しかありません。

狂言においても寒川さんはやはり野村萬斎さんが出演されていることも大きいですよ。萬斎さんが

毎年来られていることはやはり知名度にも大きく貢献しています。毎年必ず来られる所は実は中尊寺と寒川さんくらいです。他は都合や制約等により行けない場合が結構あります。野村万作先生の時代から今の萬斎さんですが、8月15日を必ず空けてくださいます。寒川さんほどにかく優先でそこを空けておきます、と言つてくださっていますので、やはりこの業界は義理で固まっていますし、義理を疎かにしてはいけないことが業界の原則でもあります。



伝統文化としての「能」ですが、コロナ禍を乗り越えた上での継承問題に関して思われることはありますか。

継承に関してはすごく問題になっている部分でもあり、後継者不足はより深刻な問題になってきています。その養成というものに関して私達も何とも言えない部分があります。鎌倉能舞台（以後、能舞台）では長男の健之介が後を継いでくれましたが、その後どうなるか正直、まだ分かりません。ただ、やはり正しいことを伝えながらブラッシュアップ（磨きをかける）することが必要と思います。ただ同じものをやっているだけで当然飽きられてしまいますが、私は全てを変えていくこと自体は良いとは思っていませんし、能自体の演出を変えることも



相模薪能 特設能舞台

あまり賛成していません。お客様のニーズに応えながらうまく作っていくことが最も大事だと思いますし、それに応えるような能楽師とならなければいけません。昔ながらの考えしかできない人も困りますし、ただ只管に革新的な人も困ります。やはりそのバランス感覚が取れることをこれからやっていかないとはいけませんから、後継者にもそのあたりを伝えていきたいですね。

能舞台の場合は、次男の慈元が能舞台での公演時の字幕などを制作しています。将来的に経営者として事務方として担ってくれることが理想です。慈元は健之介が後を継ぐことになった時に身を退きました。今もサポートに入ってくれています。業界の俗な部分や経営、ある程度まで囃子の稽古を行い能のことを熟知していますので、将来の能舞台は兄弟で継承と継統が理想ですね。また最近健之介が多く舞うので、私の舞う回数は減りました。私が営業に動きますので有難い形となっています。健之介には常日頃から、業界では舞いたい方が多くいますから舞える人を見つけて、信用できるシテ方を探し、多方面で能舞台を広げていくように話しています。

コロナ禍を乗り越えた今をお話ししますと、コロナで舞うことが難しい間、最も増えたことはオンライン配信です。しかしながら、能はオンラインには全く向かないですよ。やはり生の音声を聞くからこそ緊張もするし感動もできますから、これを機械のパソコンやスマートフォンに通しますと、それはただ単に退屈なものでしかないと思います。また、コロナの時期に無料配信が多く出回り、過去の映像なども流していたようで、現状においても



第50回相模薪能 記念表彰

「無料で見られるのなら見に行かなくてもいいのでは」という風潮だけは残っています。今も私達が参加しています文化庁の各公演においてもそのダイジェスト版が配信されています。ただそれが新しい波を呼び戻す「呼び水」にもなっている現実もあると思いますので、一概に否定はできません。このやり方で寒川さんも第53回の薪能の映像を制作されましたね。あれは良くできていますよ、映像も大変綺麗です。本物と思うような映像だったと思います。デジタル媒体を逆に宣伝、教化に使用していくのも得策です。ただ、どの公演にも収容人数には限界がつきものです。その溢れた人をどう対応するのかもこれからの課題と思います。配信や当日のライブ配信など将来的にはありなのかなとは思っています。どうしても見たい、どうしてもチケットが取れなかった人のために寒川さんとしてのライブ配信をすることも僕はあってもいいのではないかなとは思っています。そういったことでまた新たな崇敬者、寒川さんのファンを呼び込むことにもなるように思いますね。

先代から相模薪能の奉仕にあたり、口伝などで継承されていることや奉仕姿勢などがありましたらお教えください。

神様に対しての御奉仕ですから、その気持ちを絶対に忘れないように、ということは言われています。奈良の薬師寺さんなどでは、能の演出時に手を合わせる所があると、御本尊に向くのです。あえてお客さんに背を向けて行う薬師寺仕様とでも言うものです。それは演者さんのアドリブですが、そのような考え方も神仏の前で演じる時の気持ちとしては常に持っています。

また、例年思うことですが、寒川さんは大変身の引き締まる思いですよ。やはり普段の薪能ではお手伝いに地謡奉仕として赴いて帰ってくるだけですから、出演したという気持ちはありますけど、あまりその神事奉仕者というイメージがありません。

寒川さんの場合は自分が責任を持って受けているお仕事なので、奉告祭において御神前での参列、四海波の奉納をさせていただき、それだけの重責を感じながら御奉仕をさせていただいていることに緊張と感謝、有難さを感じています。

次世代の奉仕者へ伝えたいことはありますでしょうか。

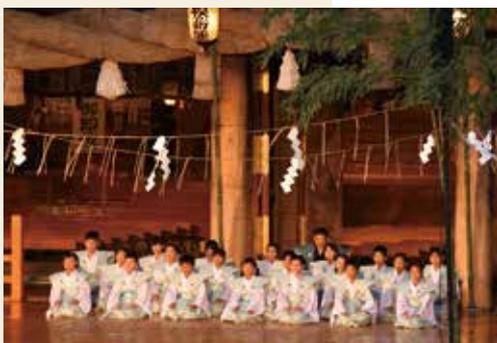
今までの姿勢もそのまま受け継いでもらいたいとは思いますが、ただやればいい、お金になればいいという考え方ではなく、やはりそれはいただいたお仕事に対して真摯に向き合っていく、寒川さんであれば特に神事奉仕者として御神事に奉仕するという意識をもって取り組んでもらいたいと思います。私達は太鼓方などがほぼ同じような面々が例年来ていますが、それも私達の考え方なのです。うちの父

は全部同じメンバーを頼むので、私も基本的に1回決めたら同じ人をずっと依頼します。なるべくその地に所縁のある方、家が近い方を選ぶようにしています。本年（第54回 令和5年8月15日相模薪能）は直前の台風により、残念ながら止む無く中止となりました。私達としましてもご来場の方の安全は申すまでもございませんが、神事奉仕者として、また神事能として例年、御奉仕させていただいていることに本当に感謝をしております。8月が難しい天候状況が重なる月であることは重々承知しておりますが、今後も末永く寒川さんの大前で御奉仕ができればと思っております。ありがとうございました。

※このインタビューは9月4日に行われたものです



子ども薪能のご指導の様子



少年館館生による子ども薪能(第50回)



能面などが展示されています



〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷 3-5-13
TEL&FAX 0467-22-5557



能舞台茶寮「神楽」(鎌倉能舞台内に併設)
能舞台の客席とテラスでお茶を楽しめます
※営業日は鎌倉能舞台にお問い合わせください



病院だより 就任のご挨拶

宗団法人寒川神社寒川病院
整形外科医長 新福 栄治



寒川病院の
新福栄治と申
します。私は
本年3月から
寒川病院の整
形外科医長と

して就任致しました。私の専門は整形外科
の中でも肩関節外科、特に低侵襲の関節鏡
手術を得意としています。肩の関節鏡は15
年程前から急速に進歩し、現在はスタンダー
ドになりつつあります。関節鏡手術は、患者
さんの痛みや不自由さを最小限に抑え、迅
速な回復を促す革新的な方法です。私はこ
れまで、患者さんの生活の質を向上させる
お手伝いをしてきました。また、手術だけで
なく、保存治療（内服治療、リハビリテーシ
ョン、注射）を含めた最適な治療プランを提供
することを心がけています。

ここでいくつか私の力を入れている分野に
関して、3つほど説明させていただきたいと
思います。まず患者さんの主な訴えである
「痛み」であります。激しい痛み、鎮痛剤に
反応しない痛み、慢性化する痛み、目を向
け研究を行ってきました。抗うつ剤が整形
外科領域で一般的な選択肢になった現在、
患者さんの心理状態から「痛み」を考えるこ
とが重要と考え、日々の診療を行っておりま
す。よくならない「痛み」にお困りの際はご相
談いただければと思います。

次に「IT」です。具体的にはタブレット端
末を用いて術後リハビリテーションを行い、手
術の術後成績の向上を目指しています。肩
の手術は60・70代の患者さんがほとんどで
すが、問題なくタブレット端末を使いこなし
ています。以前の勤務先から引き継いだこの
患者教育のIT技術は、国内でも先進的な
ものです。当院にて肩腱板断裂の手術を受
けられた際は、どうか安心してこのリハビリ
テーションプログラムを受けていただければと
思います。

最後は「エコー」です。近年のエコーの進歩
は目覚ましく、MRI検査よりも高い解像
能があり、患者さんに侵襲もなく即診断可
能な医療機器です。レントゲンで異常がない
と説明する時代は終わ
りを告げています。運動
器の聴診器代わりとし
てエコーが必須となっ
ています。

私は火曜日、木曜日
の午前中が外来の担
当日となっておりますの
で、肩のことでお困りの
方は受診をお待ちして
います。どうぞ宜しくお
願い申し上げます。

新福医師 外来診療日

	月	火	水	木	金	土
午前		◎(肩)		○		
午後						

青少年だより

寒川神社少年館
ボーイスカウト寒川第二団

寒川神社少年館は7月24日から26日まで、2泊3
日で4年振りに夏の錬成会が行われました。1日目は三
重県の鳥羽水族館で珍しい生き物を見たり、魚を自分の
手で触れたりすることができました。2日目は伊勢の神
宮へお参りに行きました。午前中は内宮へ参拝を行い、
神宮に初めて来た館生もいる中、長い宇治橋を渡り広い
境内の各社を巡り、神宮の新鮮な空気を肌で感じました。
午後はおかげ横丁の散策と外宮参拝を行いました。最終
日は蒲郡オレンジパークでメロン狩りをして、1人1玉の
自分で採ったメロンをお土産にいただきました。

また8月23日の夏のお楽しみ会ではオリジナルのう
ちわを作り、JAXA相模原キャンパス「宇宙科学探査
交流棟」を見学しました。暑さの厳しい中で体調も崩さ
ずよく学び、よく楽しみました。この夏の経験が館生達
の成長に繋がることを願っています。

ボーイスカウト寒川第二団は8月5日から7日までの
期間において、7年振りに開催された第13回神社スカウ
ト全国大会に、当団からは約40名で参加しました。こ
の大会は全国から伊勢の地へスカウトと指導者が集まり、
本年は約1,000名が参加しました。コロナの感染症対策
として全隊が旅館やホテルでの宿泊の形となり、当団は
香取神宮の団と武田神社の団と同じ旅館に宿泊をして、
3つの団のスカウトが皆で集まって自己紹介やゲームを行
い、最後に記念品の交換などを行いました。大集会では、
香取・武田の団と共に大会参加者の前でハカ（ニュージ
ランドマオリ族の民族舞踊）を披露しました。また引き
続き行われる予定でした三重県「神島」でのキャンプは
残念ながら直前の台風の影響で中止となりましたが、多
くの思い出ができた夏の活動となりました。





相模秋の歌



寒川俳壇

敷藁の色新しき西瓜畑

菅沼 保幸

母と子の大きな帽子夏休み

菅沼うめの

夏帽子投げつけ駄々をこねる吾子

猿渡 弥生

湿布葉かすかに匂ふ夏座敷

岩田美代子

列島の傷痛々し梅雨明け

新井 泰春

いい笑顔撮れて送信夏休み

竹村真砂美

妻の手の乾く間もなし盆三日

根岸 君子

身の丈で生きた余生や大花火

松本美智子

水鉄砲首ひっこめて傾けて

金子 晴子

噴水や一度で聞こえぬ夫の耳

倉谷 節子

田植すむ男三人立話

金子 つぢ

竹青し夏越しの茅の輪くぐりかな

須田 伝江

朝顔の汁で絵手紙書いてあり

四ツ車梢月

訪れば休館の札雨蛙

伊藤 公一

誕生日八十八夜の長き夜

宮入 つる

【寒川俳壇】

・昭和24年に誕生。(大正時代から不定期に開かれていた)
・月例会を月4回開き総互選をし、選句技術の向上と俳句の普及に努めている。当神社の例祭神賑行事にも献句として奉納。

相模詠草

紫陽花に囲まれたる露天風呂ままならぬこと少し和らぐ

稲垣 武子

ぼさぼさの枝を整えスツキリと涼しげな庭心和みぬ

亀山 文子

窓辺には優しく香る百合の花病の友に届けとばかり

小林 篤子

栗の花朝な夕の野に匂いたる老いの呼吸のむせ返るまで

清水 洋一

屋根の上に先づ偵察の雀二羽アイズチンチン、エサ見つけたよ

土屋トミ子

空青く梅雨の合間の草むしり冷たき麦茶喉にしみ込む

徳江 道子

畑の土天地耕転汗流す背からムクドリ追いかけてくる

二宮 昭雄

娘らが父の日祝い送りくれし青のTシャツと孫の動画

平野 良三

高千穂の神宿る社巡りつつ記に残りし降臨偈ぶ

宮治友美枝

アジサイの色あざやかな雨の午後道行く人の傘もカラフル

山根喜美代

大小のとかげつれ立ちゆるると少しあわせて草生に消ゆる

杉本 照世

亡き姉の好みし湯呑の六地藏ほほえみかけて物言いたげに

瀧本三重子

【相模詠草】

・野ばら文化会(前身、婦人会学習クラブ)「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生による詠草。公民館まつり、短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで、生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

10月～12月

寒川神社

祭典・行事のご案内



新嘗祭 豊栄の舞

人形感謝祭

10月15日

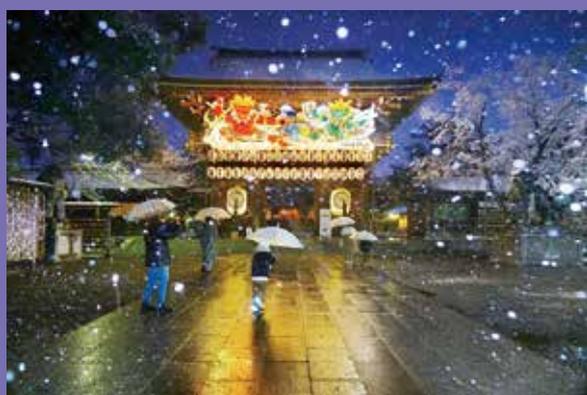
人形の日である10月15日に当神社人形奉斎殿において、納められた人形やぬいぐるみに感謝を申し上げ、祓い清める祭典です。



新嘗祭

11月23日

新穀を御神前に奉献し、五穀豊穰と勤労感謝の誠を捧げる祭典です。



第55回寒川神社宮司賞「雪の初詣」



第55回神社本庁統理賞「無病息災 本殿に一礼」

出品に際してのご注意

- 写真作品の著作権は、撮影者に帰属しますが、展示期間終了後、当神社の広報等の目的範囲内で、社報『相模』または他の媒体にて使用することがあります。この場合、使用にあたり撮影者に対して個別にご連絡は致しませんのでご承知をお願いします。
- 出品にあたり、被写体の肖像権・著作権には十分ご注意ください。人物を被写体とされている場合は、写真展出品の承諾を得た上で出品願います。当神社は、写真展応募にかかる肖像権・著作権等の諸問題についての一切の責任を負いかねます。
- 出品された作品は返却致しません。
- 作品出品時点で、上記内容をご承諾いただいたものと見なします。

10月以降のお知らせ

10月1日現在の予定を掲載しております。変更があり次第、ホームページにてご案内致します。各情報は神社公式 SNS、メールマガジンにおいても配信しています。

10月 神無月

15日 午前11時 人形感謝祭
17日 午前11時 かんなめ 神嘗奉祝祭

11月 霜月

3日 午前8時30分 明治祭
23日 午前10時 新嘗祭
10日～23日 第56回菊花写真展

12月 師走

14日 午前8時30分 煤拂祭
20日 迎春ねぶた設置
31日 午後1時 師走大祓式
並大祓祈願祭並除夜祭
除夜祭後 神徳感謝祭

毎月1日・20日
午前8時30分 月次祭



迎春ねぶた

煤拂祭

12月14日

1年間の汚れを拂い清めます。祭典後、御本殿他全ての建物の大掃除が行われ、境内各所の注連縄を交換し、新年の準備が行われます。



師走大祓式

12月31日

知らず知らずの内に犯した罪や穢を祓い清めて、明年の災難を避けて、家内安全を祈願します。全国の氏子崇敬者が人形を納め、大祓を受けます。



第56回寒川神社写真展 ご案内

本写真展は明治改元100年記念事業の一環として昭和43年(1968年)より開催されています。本年も下記内容にて写真展を開催致しますので、皆様の出品をお待ちしております。

募集要項

- 作品色・サイズ 白黒・カラー(キャビネ以上、4ツ切・6ツ切・A5・B5・A4・B4サイズ、ワイド可)
※つなぎ、合成・組写真は不可
- 出品点数 1人:5点以内「寒川神社に係りのある祭典・風景写真」※未発表のもの
※ホームページにおいても出品写真を公開致しますので、データ媒体を持参ください
- 応募期間・方法 令和5年10月1日(日)～29日(日)まで ※出品表を必ず添付ください
持参先:寒川神社社務所 午前8時30分から午後5時まで
郵送先:〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山 3916 寒川神社 教学部 教化宣布課 写真展係
- 発表時期・方法 11月中旬に入選者のみハガキにて通知
- 作品展示 11月10日(金)～23日(木) 会場:寒川神社 境内廻廊
- 表彰式 11月23日(木) 午前10時 新嘗祭にご参列後、寒川神社参集殿にて開催予定
- 審査長 写真家 丹治俊雄氏
- 各賞 寒川神社司宮賞、金賞、銀賞、銅賞、特別協賛賞など ※出品者には参加賞あり
- 【問合せ】 〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山 3916
寒川神社 教学部 教化宣布課 写真展係 電話 0467-75-0004

相模秋の歌

少年館こども俳句



ざりがにの えさやりぼくが やつてます
山下 陽輝

学校で そだてたきゆうり うまかった
野坂 時弘

ほたるさん ぴかぴか光る やみの中
葭田 芽生

夏がきて たいいくつらい あせだくだ
増田 結衣

にじのはし そして朝つゆ たからもの
寺久保睦月

意味あるの 雨の日友が 日焼け止め
丸山 理玖

～木札のご紹介～

毎月1日の月次祭にご参列された方にお頒けする木札です。数に限りはありますが、授与所にて1体2,000円で頒布しております。



リニューアルOPEN

1階ロビー・レストランあおばをリニューアルオープン致しました。



ロビーは明るい雰囲気を感じる創りとなっています。



お祝いにご使用になれる個室もございます。



寒川神社 参集殿

様々なシーンでご利用いただけます

ご予約・お問合せ

☎0467-75-5555



編集後記

関東大震災から100年です。境内にも震災時に倒壊した当時の鳥居が保存されています。災害は予期せず起こります。常日頃からの準備を自分自身がしているかと問われると不安です。八方除の御祈祷と同様に、「大難を小難に、小難を無難に」、「転ばぬ先の杖」その考えが大切です。準備を怠らず毎日を過ごしたいと思います。

(俊)

● 祝祭日には国旗を掲げましょう



相模國一之宮



JR相模線「宮山駅」より徒歩5分、圏央道「寒川北インター」より1km

次号『相模535号』は令和6年1月1日に発行します



公式 Instagram



Youtube 公式チャンネル



公式LINE アカウント



寒川神社 ホームページ

発行所 寒川神社社務所 ☎0467-75-0004(代)
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
編集責任者 小野 俊之
印刷所 株式会社さんこうどう

相模

第534号 令和5年10月1日